資料2

第3期小豆島町の総合戦略

日　時：令和7年3月28日（金）
場　所：小豆島町役場本館３Ｆ　大会議室

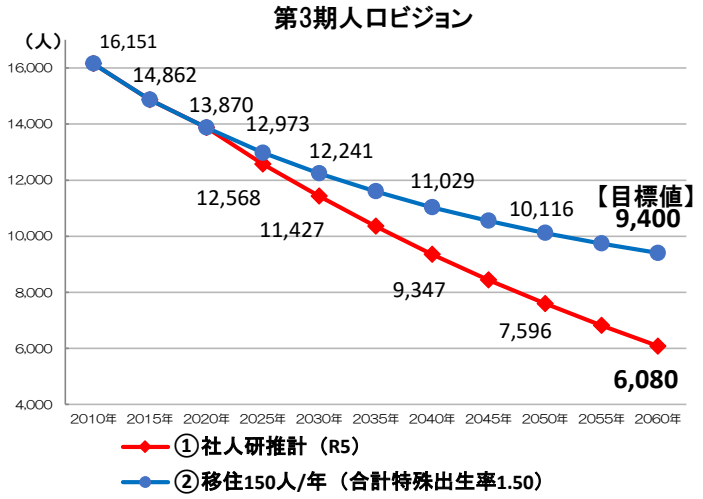
第３期小豆島町の人口ビジョンと総合戦略 2025～2029

【 ～次代に夢をつなぐ 持続可能なまちづくり～】

人口ビジョン

❖毎年度移住者150人(うち75人が定住)を維持し、合計特殊出生率(1.50)を達成した場合、2060年の人口は、9千4百人(社人研推計約6千1百人)になる。

❖高齢化率においても、40.2%(社人研推計51.5%)となり、バランスのとれた人口構成に向かっていく。



法律に沿った基本目標

ま ち

一人一人が自分らしく、若者が夢を持ってチャレンジできるまちを実現する

公共交通の拡充、集落の活性化、防災力の強化、福祉の充実を図り、安心安全なまちを実現する

【重要業績評価指標KPI】
人口 令和2年（2020年）13,870人
↓
人口 令和11年（2029年）12,200人
人口 令和42年（2060年） 9,400人

ひ と

人とのつながりを大切にし、地域社会を担っていく個性豊かで多様な人財を育む

教育・子育て環境の充実による人づくりを進め、UIJターンの推進によって人財を確保する

【重要業績評価指標KPI】
平均移住者数　150人／年（維持）
5年後定住率　50%

しごと

地域の資源をフルに活かし、観光産業を核とした産業振興を図り、魅力的な働く場をつくる

世界中の人で1年中賑わう観光の島を目指し、その波及効果をあらゆる産業につなげることで、稼ぐ力を高める

【重要業績評価指標KPI】
町民納税義務者1人あたりの平均所得
令和5年（2023）2,681千円
↓（約10%増）
令和11年（2029）3,000千円

第３期小豆島町総合戦略の基本戦略

【 ～次代に夢をつなぐ 持続可能なまちづくり～】

産業の再興と雇用基盤の強化

1. 観光の再興
2. 地場産業の再興
3. 農林水産業の再興

公共交通の確保と港の再整備

4. 公共交通の確保
5. 港の再整備

教育施設の再編による教育･子育て環境の充実

6. 教育環境の充実
7. 子育て環境の充実

集落活性と空き家活用

8. 集落活性に向けた移住定住
9. 空き家活用と住環境の整備

GREEN DESTINATIONS 2024 SILVER AWARD

安全･安心施策の推進

10. 防災対策
11. 医療･福祉の充実

第３期小豆島町総合戦略の基本施策

【 ～次代に夢をつなぐ 持続可能なまちづくり～】

❶ 産業の再興と雇用基盤の強化

観光の再興

世界中の人で１年中賑わう観光の島を目指し、**サステナブルな観光を推進**する

- ◆民間資本や官民連携による新たなホテルの誘致(宿泊の充実)
- ◆民間活力の導入による小豆島ふるさと村の再整備
- ◆「20年先の小豆島をつくるプロジェクト」の推進
- ◆瀬戸内国際芸術祭、大阪・関西万博を好機とした地域振興
- ◆持続可能な観光の推進
- ◆日本遺産、ジオパーク構想の推進による石の文化の創造
- ◆小豆島町文化財保存活用地域計画による地域の宝物の保存・活用の推進

地場産業の再興

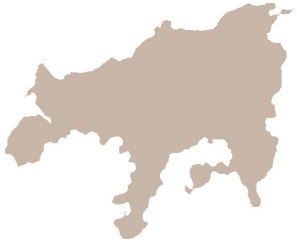
企業等の持続的な事業運営や産業界の主体的な取り組みを強力に支援し、**地場産業の再興**を目指す

- ◆ローカル10,000プロジェクトによる新規ビジネスを支援
- ◆主体的にがんばる事業者の催事等への出展を支援
- ◆サステナブル・ガストロノミーの推進(食の充実)
- ◆小豆郡雇用モデル推進事業を実施、島内の労働力確保に向けた雇用環境の整備
- ◆企業誘致を促進し、新たな工場や施設建設等の設備投資を支援

農林水産業の再興

一次産業の活性化、６次産業化を推進し、**農林水産業の好循環**を実現する

- ◆新規就農者に加え多様な農業人材を支援
- ◆「小豆島天領真牡蠣」など海産物の販路に向けた輸送費を支援
- ◆オリーブトップワンプロジェクトの推進



GREEN DESTINATIONS 2024 SILVER AWARD

❖全ての施策においてデジタルの力を活用し課題解決や魅力向上を図る

❷ 公共交通の確保と港の再整備

公共交通の確保

地域住民をはじめ、観光客の移動手段を確保し、利便性を向上することで、小豆島の**公共交通の持続的な発展**を目指す

- ◆バス停から遠いエリアに住む人の移動手段を調査・研究
- ◆オリーブバスへの経営支援と町営バスの運行実施
- ◆電動バイク・自転車などの2次交通の充実
- ◆小豆島中央高校生への通学定期代の補助や運転免許を返納した高齢者へのバス･タクシー券の支給
- ◆空飛ぶクルマ、自動運転など未来の乗り物の調査・研究

港の再整備

多くのモノや人が集う港は、小豆島の玄関であり、利便性の向上や国内外からの誘客のため、**港の再整備を強力に推進**する

- ◆小豆島坂手ポートターミナルの運用及び活性化
- ◆池田港の新バース整備等の機能強化
- ◆草壁港の活性化
- ◆クルーズ船やスーパーヨットの誘致に向けた事業実施

❸ 教育施設の再編による教育･子育て環境の充実

教育環境の充実

未来を担う子どもたちが健やかに育ち、豊かで充実した学校生活を築けるよう**教育環境の充実**を図る

- ◆内海地区の小学校再編整備の実施
- ◆英語教育やSTEAM教育、GIGAスクール構想の推進
- ◆高校の魅力向上に向けた、地域活性化起業人を活用した取り組みの推進
- ◆小・中学校の給食費無償化を実施
- ◆公民館等社会教育施設のあり方を徹底検討

子育て環境の充実

安心して子どもを産み、育てる環境づくりの充実を図る

- ◆出産・子育て応援給付事業（妊娠時15万円、出産時11万円、計26万円を給付）
- ◆小豆島セミオープンシステム「うみまちサポート」の導入と島外出産費用の補助
- ◆高校3年生までのこども医療費を給付

❹ 集落活性と空き家活用

集落活性に向けた移住定住

若者や子育て世代の移住定住を促進し、**集落の活性化**や**コミュニティ機能の維持**を図る

- ◆Uターン者への同居リフォーム支援制度やUIJターン者への奨励金給付・就職活動費補助による移住促進
- ◆若者住宅取得支援事業(新築･購入)、 Uターン者同居リフォーム補助事業（改修）において上限200万円まで補助
- ◆移住定住の特設サイト運営や「移住コンシェルジュ」の配置

空き家活用と住環境の整備

空き家の利活用や危険空き家の除却を実施し、**安全な地域づくりを推進**する

- ◆空き家活用促進に向けて未相続の物件の相続登記を支援
- ◆町が空き家を借り上げ、移住者へ貸し付ける「空き家資源活用事業」を実施
- ◆地域空き家対策推進員を配置し、空き家情報等を収集
- ◆老朽危険空き家等の除却補助要件の緩和
- ◆町営住宅の戸数適正化と長寿命化、改良住宅の管理適正化

❺ 安全・安心施策の推進

防災対策

町民の尊い生命や貴重な財産、地域の宝物を守るため、**防災対策を強化**する

- ◆住宅の耐震診断や耐震改修の補助制度により住宅の耐震化推進
- ◆防災行政無線の更新
- ◆消防団小型動力ポンプ更新による消防団の機能強化
- ◆町道・橋梁・河川の維持管理や雨水公共下水道整備事業（ポンプ更新や排水管新設）

医療・福祉の充実

町民の安全で安心な暮らしを守るため、**医療・福祉の充実**を図る

- ◆小豆島中央病院の運営支援（医療スタッフの確保や医療機器等の整備費補助）
- ◆認知症施策の推進
- ◆グループホーム新設及び既存施設の改修を補助